

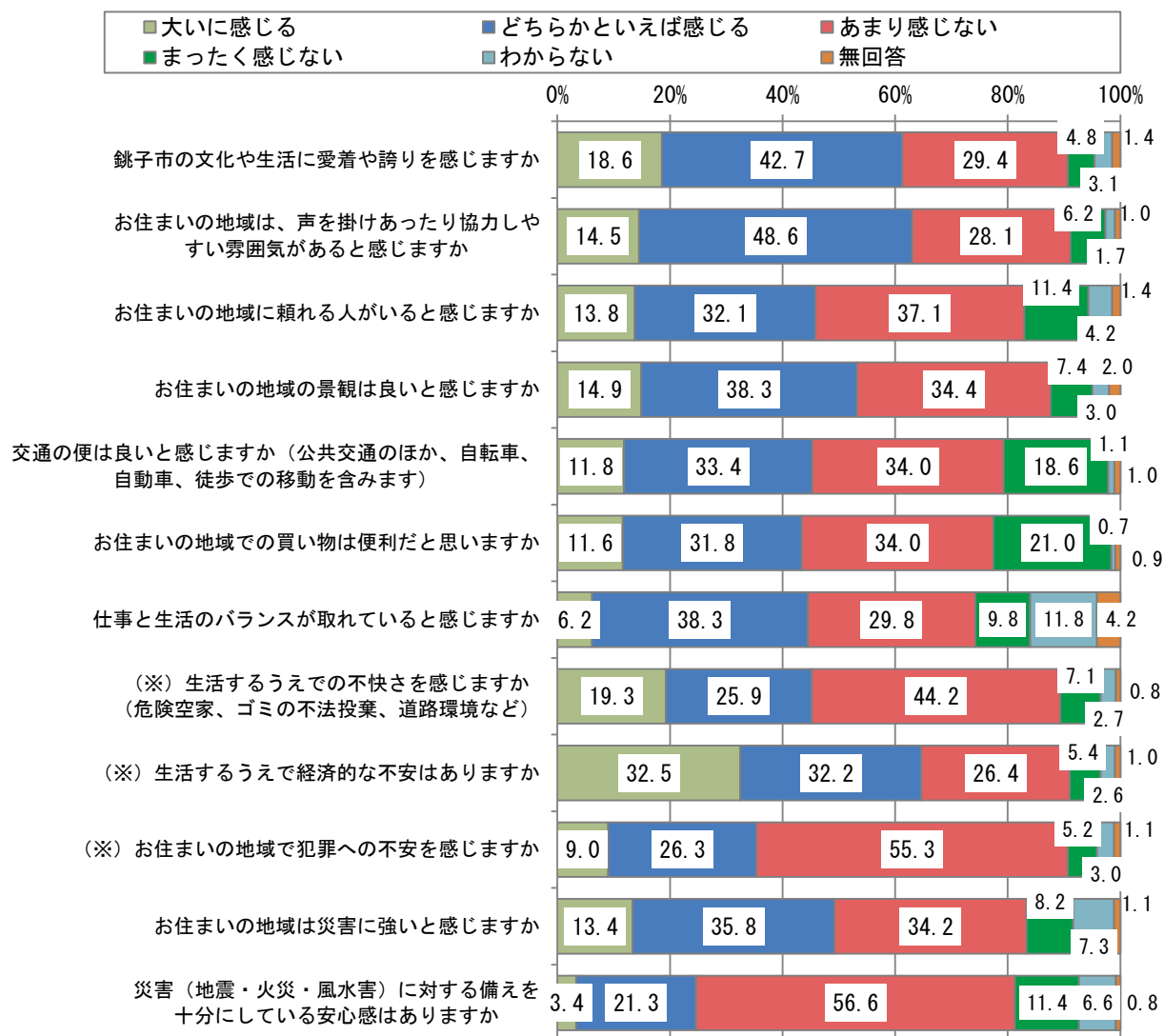
### III 調査結果の分析



# 1. 生活環境について

## (1) 生活環境

問 8 次の各項目について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。



計: 1,250

※印の設問は否定的な状況を回答する内容のため、この設問のみ肯定的回答を(あまり感じない+まったく感じない)とし、否定的回答を(大いに感じる+どちらかといえば感じる)として解説します。

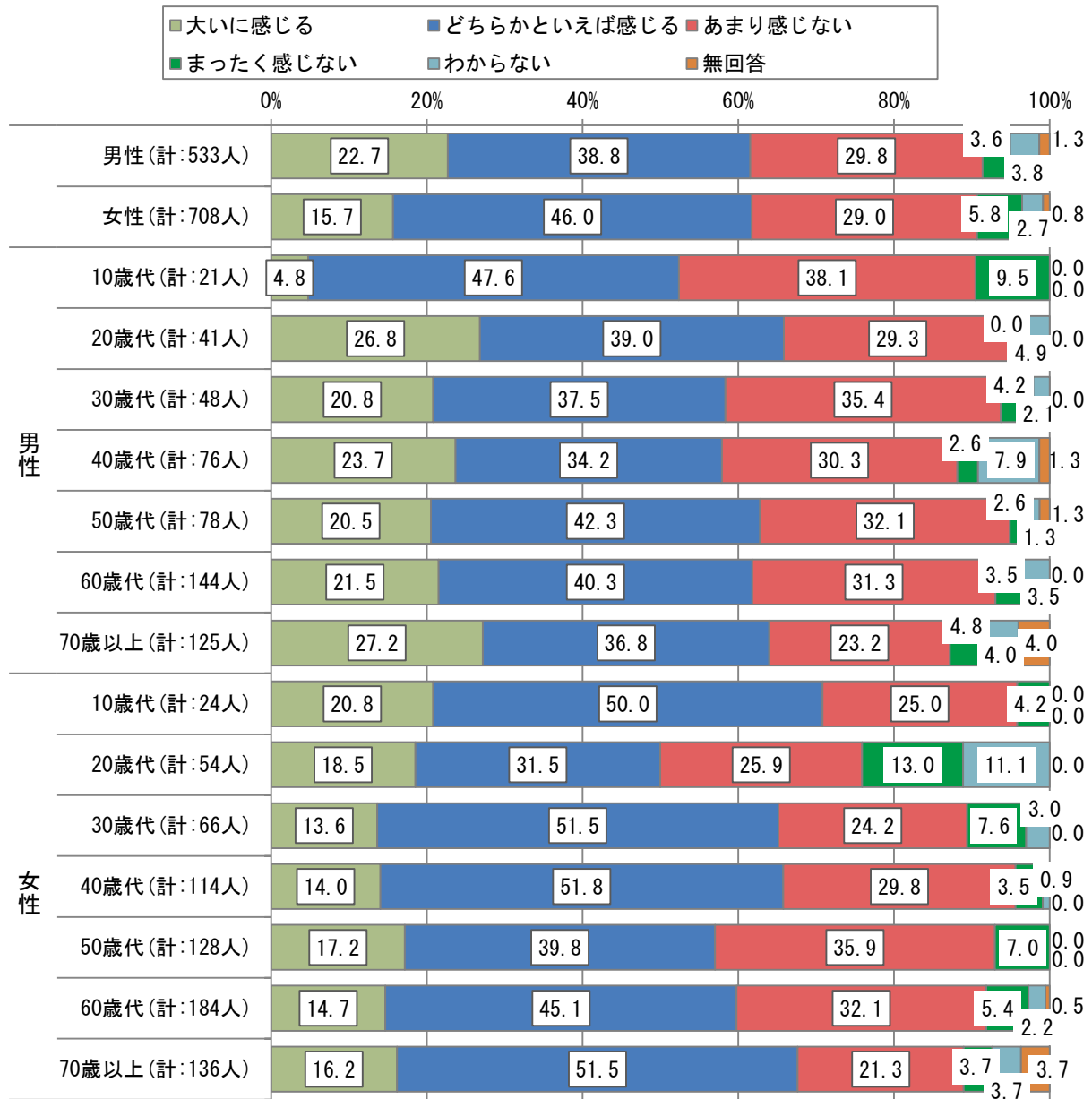
銚子市の生活環境についてたずねたところ、肯定的な回答(大いに感じる+どちらかといえば感じる)の割合が最も高かったのは「お住まいの地域は、声を掛けあったり協力しやすい雰囲気があると感じますか」の 63.1%となっており、続いて「銚子市の文化や生活に愛着や誇りを感じますか」(61.3%)、「お住まいの地域で犯罪への不安を感じますか」(60.5%)となっています。

一方で、否定的な回答(あまり感じない+まったく感じない)の割合が最も高かったのは「災害(地震・火災・風水害)に対する備えを十分にしている安心感がありますか」の 68.0%で、次に「生活するうえで経済的な不安はありますか」の 64.7%となっています。

## (2) 銚子市の文化や生活への愛着や誇り

問 8-1 銚子市の文化や生活に愛着や誇りを感じますか

【性別・年齢別】



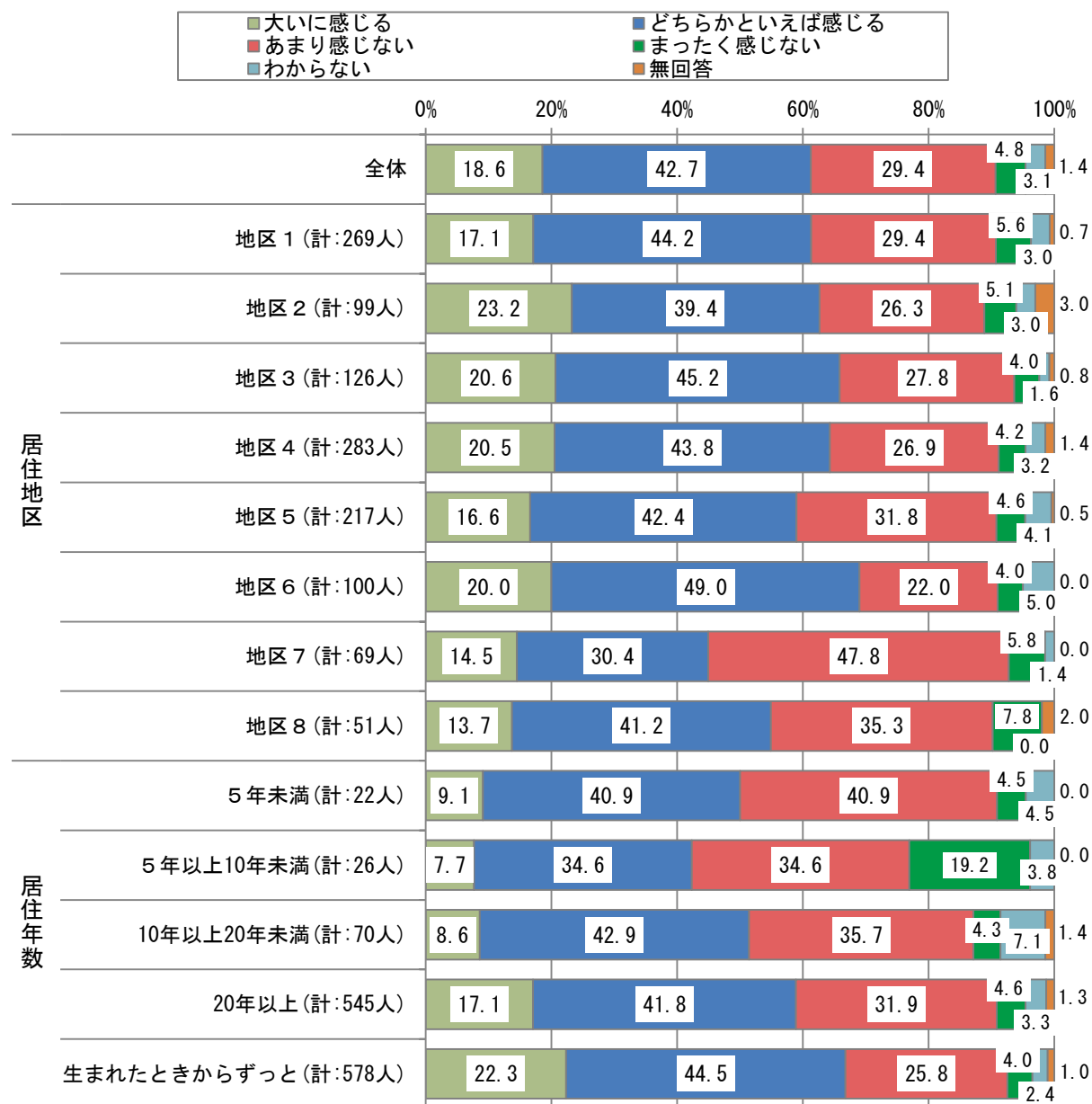
銚子市の文化や生活に愛着や誇りを感じるか、性別・年齢別にみると、銚子市の文化や生活に愛着や誇りを(大いに感じる+どちらかといえば感じる)と回答した人の割合は男女ともに60%を越え、全体的に肯定的な傾向となっています。

一方で、否定的に感じている割合(あまり感じない+まったく感じない)と回答した人の割合は10歳代男性が47.6%と最も高く、次いで50歳代女性の42.9%となっています。

男女間の差異を年代別にみると、10歳代では女性が男性より肯定的な傾向があり、20歳代では男性が女性より肯定的な傾向があります。

問 8-1 銚子市の文化や生活に愛着や誇りを感じますか

【居住地区・居住年数別】



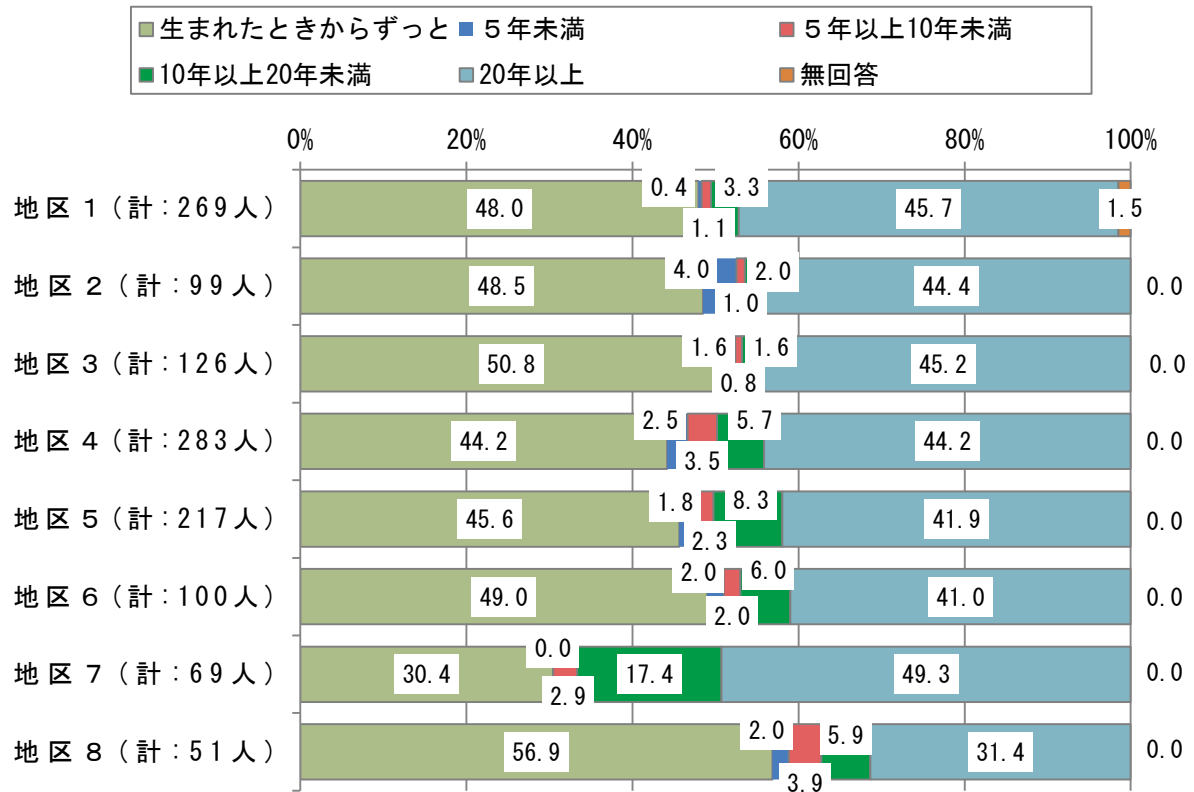
銚子市の文化や生活に愛着や誇りを感じるか、居住地区別にみると、肯定的に感じている割合（大いに感じる＋どちらかといえば感じる）が最も高いのは「地区6」の69.0%となっており、次いで「地区3」の65.8%となっています。

一方で「地区7」では最も低く44.9%となっており、次いで「地区8」の43.1%となっています。

居住年数別にみると、肯定的に感じている割合は「5年未満」では5割となっており、「5年以上10年未満」が最も低く42.3%、それから居住年数を経るに従い割合が高くなり、「生まれたときからずっと」住んでいる住民では66.8%と最も高くなっています。

### (3) 居住環境

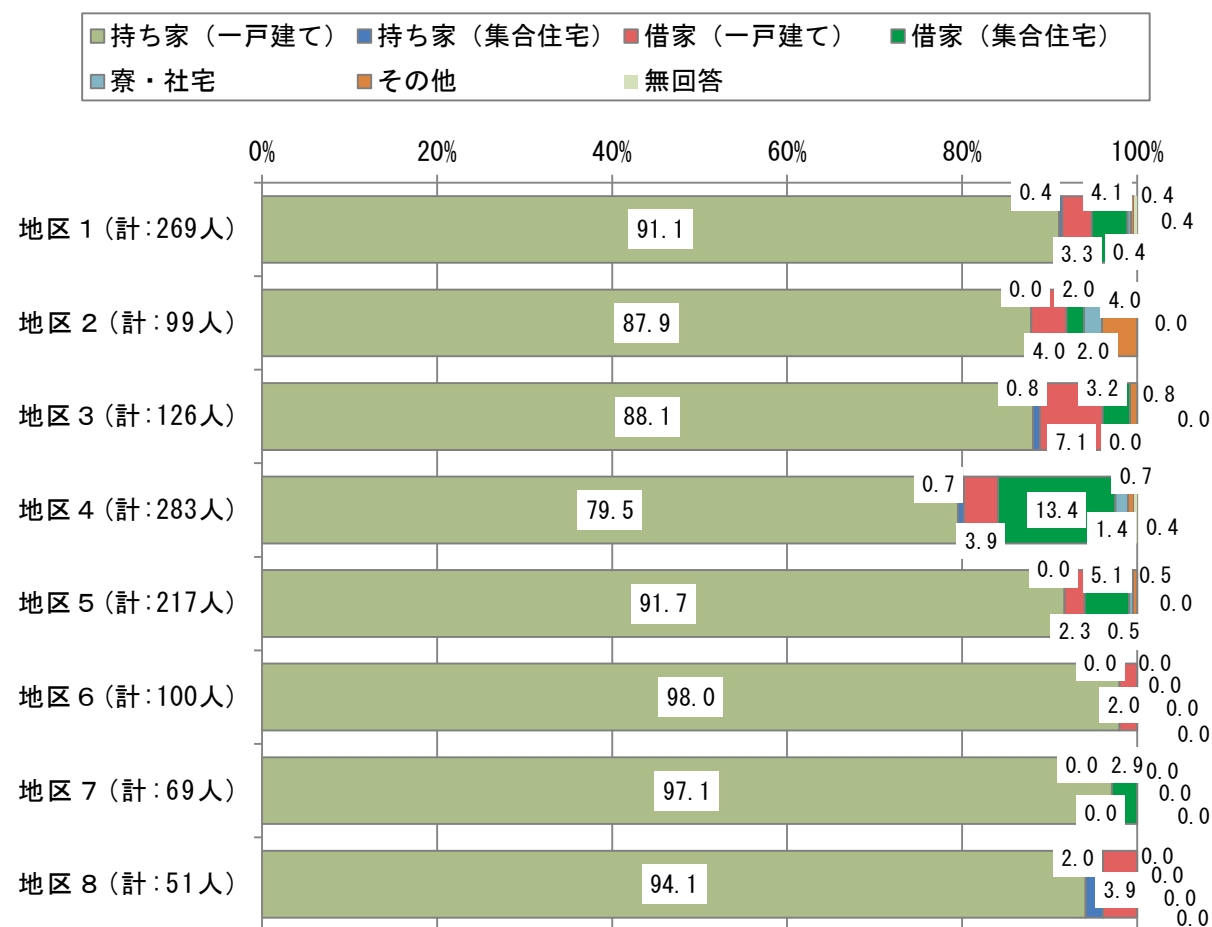
【居住地区×居住年数】



居住地区別に居住年数の割合をみると、生まれたときからずっと居住している割合が最も高いのは「地区8」で56.9%となっています。

一方で、「地区7」は居住年数が「10年以上～20年未満」の割合が17.4%と市内全域(平均6.3%)と比べて11.1ポイント高くなっています。

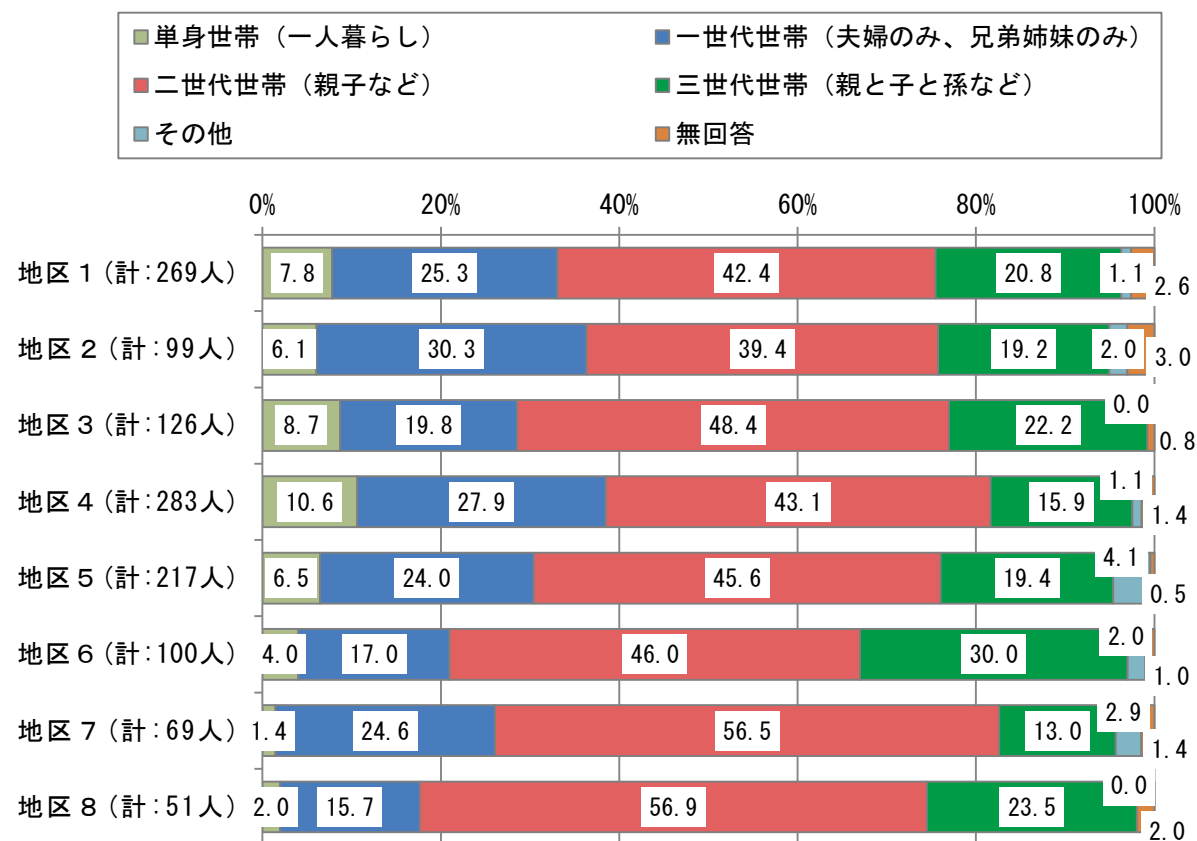
【居住地区×住居形態】



居住地区別に住居形態の割合をみると、「持ち家（一戸建て）」の割合がすべての地区で最も高いなかで、「地区4」では「持ち家（一戸建て）」の割合が79.5%と最も低くなっています。

「地区4」の「借家（集合住宅）」の割合をみると13.4%と市内全域（平均3.8%）と比べて、9.6ポイント高くなっています。

【居住地区×世帯状況】



居住地区別に世帯状況の割合をみると、「地区6」では「三世帯世帯」の割合が最も高く30.0%となっており、市内全域(平均20.5%)より9.5ポイント高くなっています。

一方で、「地区4」では他地区と比較して「単身世帯(一人暮らし)」や「一世代世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ)」の割合が高く、「三世帯世帯(親と子と孫など)」の割合が低くなっていることから、小規模の世帯が多いことが分かります。